

題 目 ワシンエコフロアH-2

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木 工 塗 料 事 業 部

平成 年 月 日

ワシンエコフロアH-2

(速乾型一液型油変性ウレタンクリヤー)

ワシンエコフロアH-2は体育館、住宅等の木質の床・建具・造作用の塗料です。鉛やホルムアルデヒドなどの有害物質を使用していない環境対応型の塗料です。一液型で高肉持、高光沢の特徴を持ち、刷毛・モップ等の現場塗装に適しています。

§ホルムアルデヒド放散等級 F (日本塗料工業会登録 W01178)

F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

§特長

- 鉛やホルムアルデヒドなどの有害物質を使用していない。
- 一液型で作業が簡単。
- 刷毛・モップの作業性が良い。
- 肉持、光沢が良い。
- 塗膜が強靱で耐衝撃性・耐摩耗性が良い。

§用途 体育館、住宅等の木質の床・建具・造作用。

§希釈割合目安 本品は一液型ですので、塗料用うすめ液(エコタイプ)で希釈するだけで御使用できます。

ワシンエコフロアH-2	100
塗料用うすめ液(エコタイプ)	0~20

希釈しすぎると肉持ち、光沢が落ちますのでご注意ください。

§乾燥性目安

気温20	湿度65%	塗布量 80~100g/m ² の場合
指触乾燥		40分
指圧乾燥		3時間

条件によって塗布量、乾燥状況は変わりますので参考として下さい。

§ 塗料性状

外 観	透明褐色液体	
粘 度	55秒 ± 10秒	No.4フォードカップ/25
密 度	0.92 ± 0.02	25
不揮発分	47.3 %	計算値
保管安定性	異 状 な し	50 1カ月

§ 塗膜性能

試験項目	試験結果	規格値 又は 試験方法
鉛筆硬度	HB	三菱鉛筆ユニ 1週間養生
密着性	100/100	ゴバン目・セロテープ法
耐酸性		5%酢酸水 24時間
耐アルカリ性		5%炭酸ナトリウム水 24時間
耐水性		水道水 24時間
耐アルコール性		60%エタノール水 24時間
耐溶剤性		塗料用うすめ液 24時間
耐マジック性		24時間後 ベンジン拭き取り
耐クレヨン性		24時間後 ベンジン拭き取り
耐インキ性		24時間スポット
耐湿熱性		沸騰水入りビーカー30分放置
すべり試験	0.567	C.S.R 硬底紳士靴 ダスト散布
すべり試験	0.514	C.R.S 軟底紳士靴 ダスト散布

すべり抵抗値（C.S.R）の範囲は0～1.0で、値が小さいほどすべり易く、大きいほどすべりにくくなります。0.5～0.8の間に位置すれば、安全性・快適性の観点から大きな問題はないと言われています。

§ 塗装工程例

(体育館木質床)

工程	使用塗料	塗布量 (g/m ²)	乾燥時間 (20)	備考
素地調整	フロアサンダー及びポリッシャーによる、均一で平滑な木肌を得る為の研磨作業と掃除機による除塵			
下塗り	ワシンエコフロアH-2 100 塗料用うすめ液(エコタイプ) 10~20	70~100	一夜乾燥	専用モップ 刷毛
研磨及び除塵	木のケバ立ちを取り除く為のポリッシャーによる、入念な研磨作業、研磨粉は掃除機で完全に除去			
中塗り	ワシンエコフロアH-2 100 塗料用うすめ液(エコタイプ) 10~20	90~120	一夜乾燥	専用モップ 刷毛
研磨及び除塵	木のケバ立ちを取り除く為のポリッシャーによる、入念な研磨作業、研磨粉は掃除機で完全に除去			
上塗り	ワシンエコフロアH-2 100 塗料用うすめ液(エコタイプ) 10~20	100~130		専用モップ 刷毛
養生	常温にて3日以上			

塗布量は目安であり、塗布素材や塗装方法により異なります。

§ 塗装作業上のアドバイス

1. うすめ液はエコタイプのうすめ液をお使い下さい。
2. 研磨は十分に行い、研磨粉は完全に除去して下さい。この作業が完全でないと、最終仕上げで期待通りの成果が得られません。
3. 下塗りはうすめ液の希釈量を多くし、塗布量を少なくして行った方が研磨作業がやりやすく、塗料の使用量も少なくて済みます。
4. 特に差し支えない限り窓を開放して塗装し、室内に溶剤がこもらないように注意して下さい。更に、塗装後も十分に換気して下さい。
5. 気温の低い冬場や湿度の高い梅雨時は特に養生期間を長めに取って下さい。

§ 使用上の注意

- 1 . 塗料の付着した布切れ , 塗料カス , 塗膜の研磨粉などを積み重ねて放置しておきますと、自然発火することがありますので、その都度焼却するか廃棄するまで水につけておいて下さい。
- 2 . 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- 3 . 塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 4 . 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。
- 5 . 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 6 . 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- 7 . 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落として下さい。
- 8 . 皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。
- 9 . 目に入った場合には、多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 10 . 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 11 . 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 12 . 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- 13 . よくフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。
- 14 . 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 15 . 中身を使いきってから廃棄して下さい。
- 16 . 本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。